

マルバウマノスズクサ	<i>Aristolochia contorta</i> Bunge	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		ウマノスズクサ科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が極めて少ない。	写真(岐阜大学教育学部標本室) 
形態の特徴	多年性のつる草。全体に毛がない。葉は粉白色で卵状三角形、長さ4-10cm、基部は浅い心形、葉柄は1-7cm。花は淡緑色で紫色を帯び、長さ2-3cm、葉腋にいくつか集まってつく。	
生態的特徴	明るい林縁などに生育する。花期は7-8月。	
分布状況	朝鮮、中国北部、ウスリーに分布し、日本では東北地方から山陰にかけての日本海側にある。岐阜県では県北に見られる。	
減少要因	開発や森林伐採などによる生育地の破壊が考えられる。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項		
参考文献		
		

文責:高橋弘